

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の 冬季防除を徹底しましょう！

向こう1か月の気象予報（令和6年1月11日高松地方気象台発表）によると、気温が高い予想のため、スクミリンゴガイの越冬量が多くなる可能性があります。

本貝は移植直後のイネを食害することから、越冬する貝を減らすことが重要となります。1～2月の気温が低い時期の防除を徹底し、冬季の耕うんや用水路の溝さらいをぜひ行いましょう。

スクミリンゴガイは用水路や水田の土中に潜んで越冬します。厳冬期には越冬できずに死滅する貝が多くなりますが、気温が高いと越冬数が増え、被害が増加します。

また、本貝の県内発生範囲は拡大しており（図1）、次作での被害を防止するために、発生地域では冬期防除を徹底しましょう。

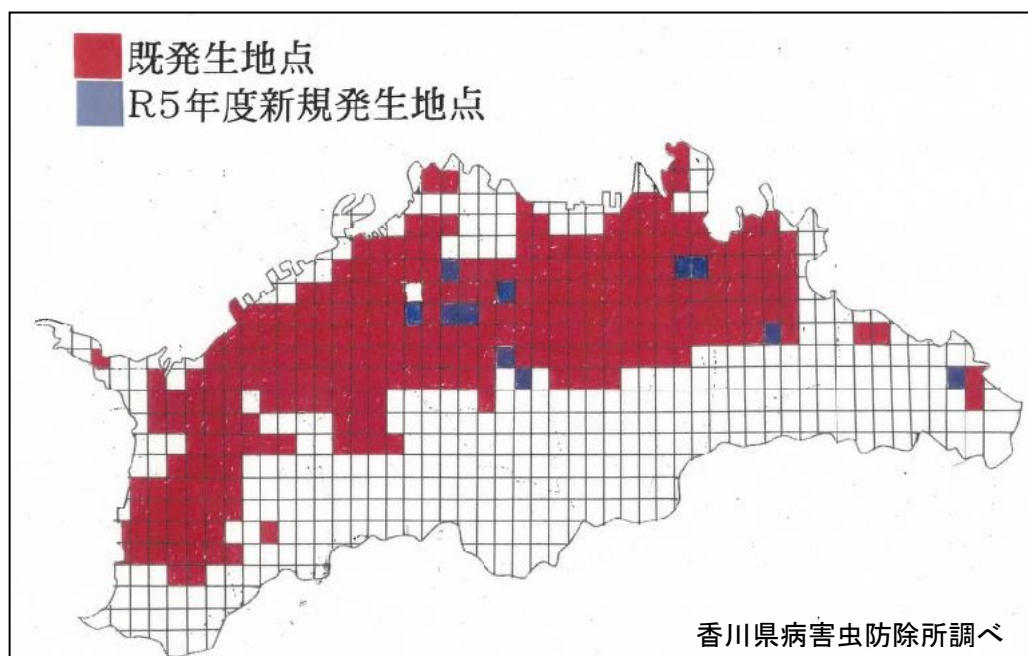


図1. スクミリンゴガイの県内発生確認地域（1マス2km四方）



図2. スクミリングガイによる被害圃場



図3. スクミリングガイ

【冬季防除の方法について】

1. 冬季の耕うん

- ・本貝は深さ5 cm 程度の浅い土中で越冬することから、貝が多く潜んでいる深さ5 cm 付近を中心に、**ロータリーの回転数を最高にし、走行速度はゆっくりと丁寧に耕うんしてください**。深く耕うんすると、地表表面にいる貝をかえって地中に埋め込んでしまい、防除効果が低下するおそれがあります。
- ・耕うんすることで、土中の貝を掘り返して寒風にさらすこと、また貝を砕くことで越冬する貝を減らすことができます。
- ・トラクターに付着した土に貝が潜んでいることがありますので、作業を行う圃場の順番を考慮し、耕うん後はトラクターの土を十分に洗い流してください。

2. 用水路の溝さらい

- ・用水路内でも貝が越冬していることがありますので、溝さらいを実施して貝を取り除いてください。水系単位で組織的に実施すると、より高い効果が期待できます。
- ・用水路を使用しない時期は落水することで貝の越冬数を減らすことができます。

3. 注意事項

- ・用水路への薬剤処理は禁止されております。
- ・本貝には人体に有害な寄生虫がいる場合がありますので、素手で取り扱わないでください。
- ・詳細につきましては、香川県農業試験場病害虫防除所ホームページを参照ください。

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

